

爽やかな秋晴れの日が多くなりました。東京湾の埋立地では、セイタカアワダチソウの花に秋の蝶が集まっており、一年振りにアサギマダラやミドリヒョウモンにも会うことができました。今年は無ラサキツバメの数も多く、朝日を浴びて飛び回っています。例年の様にソテツの観察もしていますが、クロマダラソテツシジミの食痕は見つかりません。（総務幹事：田中和夫）

### 【10月例会】

日時：平成27年10月20日（火）（第3火曜日） 午後6：30～8：30

場所：吉祥寺、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室

新企画・全員参加型例会「話題提供・トピックス」

皆さまが日頃取り組んでいらっしゃることに、関心をお持ちのこと、疑問を感じていらっしゃることに、「話題提供」として自由に発表していただき、皆で意見を言ったり、話し合ったりする場としたいと思います。（企画幹事：北川朝生）

発表：

加藤禮子さん：立川市の昆虫のデータベース化で多摩虫への協力要請を伝える。

森田佳奈さん：昆虫の顔写真クイズから始まり、モフ会メンバーとして何枚かの写真の紹介

早坂弘次さん：大菩薩日川観察会の紹介

仲西周二さん：ブルーオオムラサキについて

藤塚弘さん：こんなの撮れてしまいました。2種類の蝶を13点の写真と共に紹介する。

大島良美さん：秩父ミュージックパークにおけるウラギンヒョウモンの生態

その他

### 【以降の例会予定】 午後6：30～8：30、

11月21日（土）（第3土曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

講演：保坂満氏「韓国ヒメギフ採集紀行」

大野和美氏・朝日純一氏「ロシア・沿海地方昆虫採集報告」

12月13日（日）（第2日曜日、パレスホテル立川3階こぶしの間）

「忘年会」兼「昆虫何でも競り会」

1月16日（土）（第3土曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

「一人一話」

2月27日（土）（第4土曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

講演：森紘一氏「ビジネス出張と蝶」

3月20日（日）（第3日曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

「年次総会」 9時～12時 「懇親会」も予定

4月19日（火）（第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

### 【連絡事項】

#### 1. 『多摩虫65号』の配布

多摩虫65号を9月例会で配布致しましたが、出席されなかった方へはクロネコDM便（各宅へのポスト投函）にて発送いたしました。執筆いただいた方には2冊同封してあります。投稿ありがとうございました。まだ着便ない場合は一報ください。（編集幹事：羽鳥信義、内田 脩太）

## 2. 『会員名簿の配布』

8月末時点での会員名簿を9月例会で配布し、出席されなかった方へは会誌に同封して送付しました。個人情報保護の観点から、紙での配布のみとし、データの公表は致しません。

名簿の配布は年1回とし、住所変更などの連絡を受けた場合は、適宜、「ミニたまむし」誌上に変更内容を掲載します。間違いなどが有りましたら連絡ください。（総務幹事：田中和夫）

## 3. 『第14回 高尾山の蕎麦と昆虫を楽しむ会』

10月17日（当初9月27日に実施予定を延期）に予定した会は、天候不順のため中止致しました。なお、次回の実施は11月中旬以降となります。

実施の日取りが決まりましたら、多摩虫の会員の皆様には会員メールで御案内致します。また、グループ多摩虫の会員以外の方は会のホームページにも掲載致しますので、それをご覧の上、どうぞご参加下さい。（担当：斎藤秀昭・中村 清）

## 4. 『新着交換会誌』

下記の交換会誌が送られてきています。10月例会で回覧します。

尚、本図書も貸し出し対象と致しますので、ご活用下さい。

1. 埼玉昆虫談話会 寄せ蛾記 158号
2. 京都大学蝶類研究会 SPIMDA No. 30
3. 沖縄昆虫同好会 琉球の昆虫 第39号

## 【9月例会 概要】

9月15日（火）に武蔵野公会堂にて33名の参加者を集めて9月例会が開催されました。

講演の前に大島会員から飼育用容器の寄付申し出があり、結構多くの会員がいただきました。

初めの講演、宮崎茂穂会員の「東南アジアでの蝶採集今昔」では、現役時代に赴任していたフィリピン、台湾、ベトナムなどでの経験から培われた、現地での留意点などに重きが置かれたお話でした。中でも印象的だったのは、まず最初に認識すべき点だとして挙げられた「日本人の正直さや誠実さは外国人には通用しない特殊なものである」という内容でした。

それでも大過なく生き抜いて来た宮崎会員が得た蝶にはご自分の名が付された画期的なものも多く、まさに宮崎会員の人生の財産が語られたひとときでした。

次に、中村清会員による「東京都の蝶データ入力方法解説」がありました。

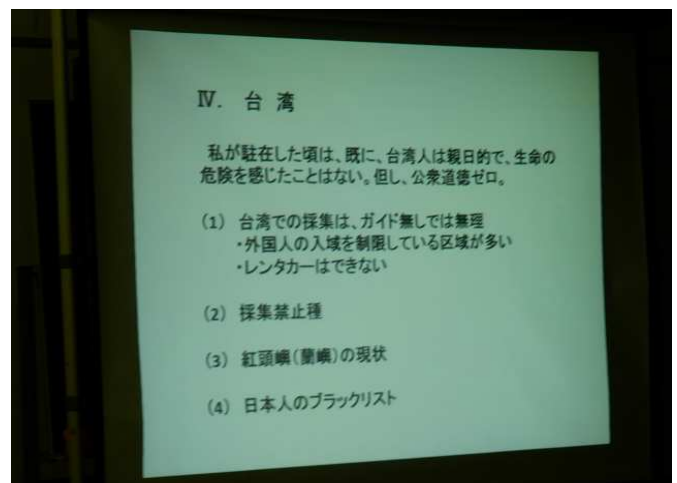
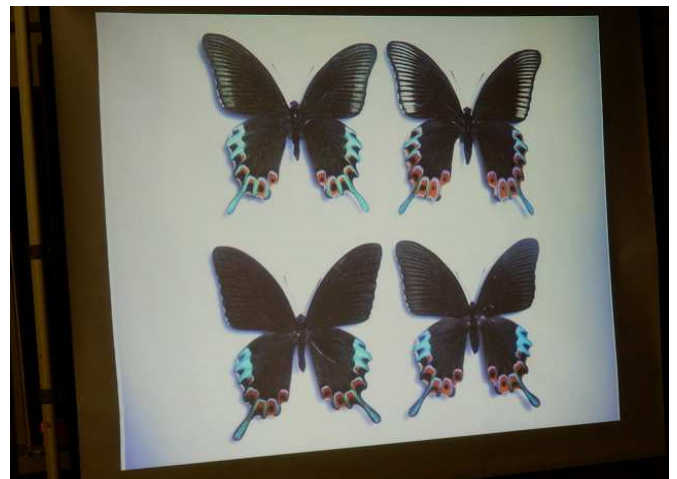
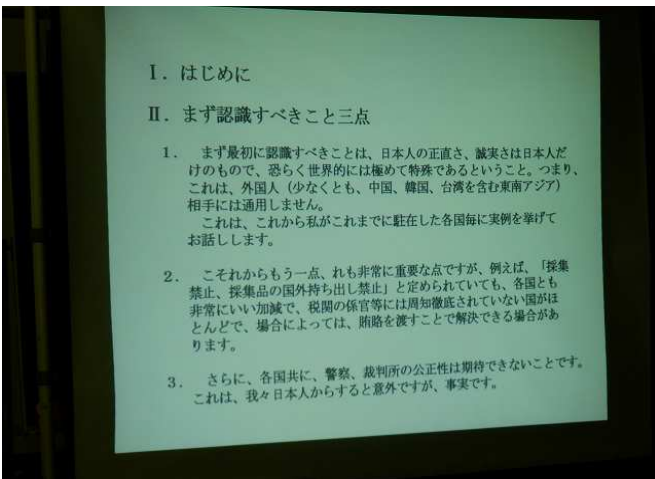
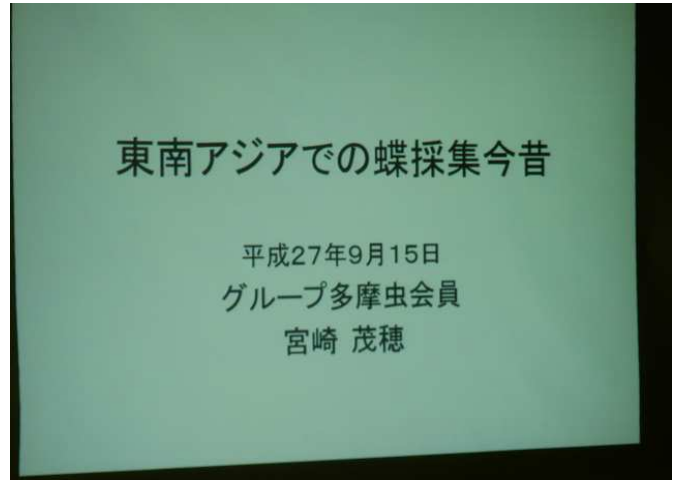
この入力は以前からあったもので、一部の方は実施していますが、ここで一度しかりレクチャーしようということで企画されました。なるほど手取り足取りに解説されれば、自分にも可能だということが分かりました。まずは一度自分でやってみることが必要ですね。

現場で入力実演した中村会員のアオスジアゲハの記録がMLに乗っかって来ておりましたね。

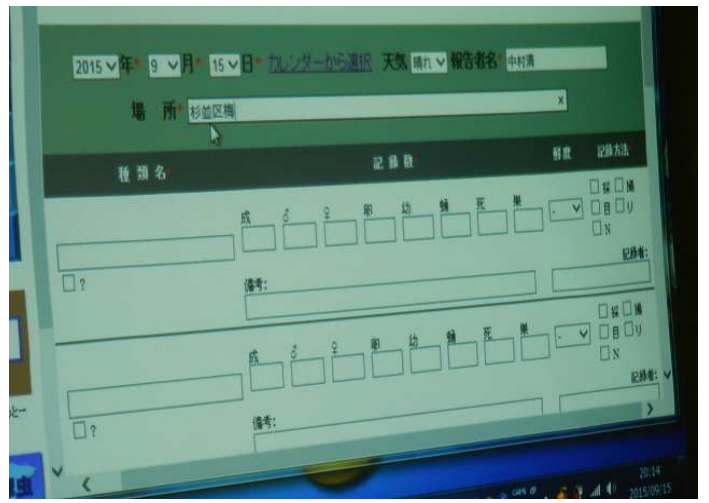
その後はまた、はなの舞での二次会があり有志で出かけました。（企画幹事：北川 朝生）

宮崎 茂穂 さん

「東南アジアでの蝶採集今昔」



## 中村 清 さん 「東京都の蝶データベースの入力方法解説」



## 二次会の風景





# 「グループ多摩虫 東京都の蝶類データベース」ご利用の手引き

多摩虫では、皆様がメールリストなどで報告された、東京都の蝶類の記録をデータベース化しています。「東京都の蝶類データベース」は、これらの記録をさまざまな方法で検索、抽出できるシステムです。このページでは、検索システムの基本的な使い方をご説明します。

## トップページ

記録の検索はトップページより行います。さまざまな検索方法を準備しておりますので、目的に合わせてご利用ください。各検索のページなどで、トップページに戻るには3つの方法があります。

1. 「データベース検索のページへ戻る」というリンクがある場合、それをクリックする。
2. 一番上にある「東京都の蝶類データベース」のタイトルバナー（キアゲハの写真があるところ）をクリックする。
3. ブラウザの「戻る」でトップページまで戻る。ページによっては「もう一度フォームを送信しますか?」というメッセージが表示されます。この場合、「送信」をクリックして（エラーが発生しますが、問題ありません）さらにトップページに戻るまで「戻る」をクリックしていく必要があります。

## データの投稿・入力について

当システムより、データベースへの記録追加が可能です。このシステムを通じて記録されたデータは自動的に多摩虫のメールリストに送信され、会員と共有することが可能です。メールリストに送られる報告には任意のメッセージを加えることが可能となっています。

### 記録の登録・報告手順

- ・トップページから報告する種類数を選択して、「報告する」ボタンをクリックしてください。選択した種類数に応じて、報告する行が表示されますが、すべての行を埋める必要はありません。
  - ・記録の報告は1つの日付、1つの場所ごととなります。違う日付、または同じ日付でも違う場所の報告はそれぞれ別々に入力してください。
  - ・記録者と報告者が同じ場合は、記録者に名前を入力する必要はありません（名前がない場合、報告者の名前が記録者となります）。
  - ・記録数で、少数（2～5頭）の場合は7000、多数（>5頭）の場合は8000、極めて多数（>50頭）の場合は9000を入力してください。これは誤って数字以外の文字を入力しないようにするための仕様となっております。
  - ・特に記録数がわからない場合は、9999を入力してください。
- ★ 入力必須事項は、「日付」、「報告者名」、「場所」、「種類名」、「記録数」、「記録方法」となっております。

- ・場所の名前は「東京都」以降の住所をご記入ください。

・種類の記録を入力する行はどこでも構いません。種類名が書かれている行のみ、データが取り扱われます。

・種類名で「アゲハ」は「アゲハチョウ」に、「クマソ」は「クロマダラソテツシジミ」に自動変換されます。その他略称をご利用になりたい場合は、IT 担当者にご連絡ください。

・記録数はそれぞれ、「成虫」、「♂」、「♀」、「卵」、「幼虫」、「蛹」、「死骸」、「巣」の欄に半角数字で入力してください。たとえば、3頭目撃してその内1頭が♀であることを確認した場合は「成虫」に「2」、「♀」に「1」を入力してください。

・「鮮度」情報は任意です。

・記録方法は「採集」、「撮影」、「目撃」、「キャッチ&リリース」、「ヌル」があります。複数選択することが可能です。

「採」は採集した場合チェックを入れてください。

「撮」は撮影した場合チェックを入れてください。

「目」は目撃した場合チェックを入れてください。なお、種類の同定が難しい場合は、推測される蝶の種類を入力し、その横の「？」にチェックを入れてください。

「キャッチ&リリース」は捕獲して逃がした場合チェックを入れてください。

**N** 「ヌル」は目的の蝶を探しに行き、見つからなかった場合チェックを入れてください。

この場合、成虫を探しに行った場合は「成虫」の欄に「0（ゼロ）」を入力してください。

・「備考」の欄には、「初見」や「訪花」など、観察した時の様子や、「2令幼虫」や「夏型」などより詳しい情報、そして、「3頭撮影、内2頭採集」などさらに詳しい情報を報告する場合、情報を記入してご利用ください。

・入力が終わりましたら、下にある「記録を確認する」ボタンをクリックしてください。次の画面で入力されたデータが整理されて表示されますので、その内容をご確認ください。データに間違いがある場合は、ブラウザの「戻る」で入力画面に戻り、修正してください。入力されたデータにおかしなところがあった場合は、システムがエラーを表示しますので、エラーの内容を確認し、入力画面に戻ってデータを修正してください。エラーが表示されている場合は、それより先に進めませんのでご注意ください。**※ブラウザの「戻る」ボタンを使用しない場合、入力していた項目がリセットされてしまいますので、気を付けてください。**

・データの確認ができましたら、「メッセージ」欄にメールリストに送るメッセージを記入して「記録を送信する」ボタンをクリックしてください。なお、このメッセージはメールリストに送られるだけで、データベースには記録されませんのでご注意ください。

・さらにデータを送る場合は、「別の場所・日付で報告を作成する」をクリックして、上記手順を繰り返してください。

## 検索で利用する共通機能

### ■ 完全一致とは？ ■

「 完全一致

「完全一致」とは、入力された種類名や場所名などと、記録されているデータの文字がぴったり一致している記録を抽出するときに利用します。

たとえば、「ミドリシジミ」を完全一致チェックなしで種名検索した場合、「アイノミドリシジミ」や「オオミドリシジミ」も「ミドリシジミ」という文字が含まれるため、検出されます。ミドリシジミのみのデータを抽出されたい場合は、完全一致にチェックを入れて、「ミドリシジミ」を検索します。

完全一致のチェックなしで検索すると、「あいまい検索」が実行されます。

あいまい検索の場合、「XXを含む」という使い方ができます。たとえば、「シジミ」であいまい検索すれば、「シジミ」が名前につく蝶の種類を抽出します。場所で「練馬区」であいまい検索すれば、「練馬区」という文字が含まれた、すべてのデータを抽出することができます。

### ■ 月の指定について ■

月から  月までの記録を表示。

検索で「月」が指定できる場合、これを利用することができます。月指定は年に関係なくデータを抽出します。たとえば、「1月から2月」を検索した場合、データベース内で最も古い1950年ごろから今年までの、毎年の1~2月の記録が検索されます。

特に月を指定する必要がない場合は、初期設定である、1~12月にしておいてください。

## さまざまな検索方法

### ■ 種類名から検索 ■

名前の通り、「種類名」でデータを検索できます。抽出されたデータは、

**日付、場所、記録数、状態、記録方法、備考、記録者**

が種類ごとにまとめられて表示されます。最初の表は「記録日順」で表示され、新しい記録日が上に来ようになっています。古い記録日を上にする様並べ替えるには、表の日付の右横にある、「▼」や「▲」をクリックしてください。

右上の「記録場所順」をクリックしますと、記録場所ごとにまとめて並べ替えられます。この場合、記録日は新しい順で固定されています（日付による並べ替えはできません）。

### ■ 場所名から検索 ■

「場所名」でデータを検索できます。抽出されたデータは、

**日付、種類名、記録数、状態、記録方法、備考、記録者**

が場所ごとにまとめられて表示されます。最初の表は「記録日順」で表示され、新しい記録日が上に来ようになっています。古い記録日を上にする様並べ替えるには、表の日付の右横にある、「▼」や「▲」をクリックしてください。

右上の「種類名順」をクリックしますと、それぞれの場所ごとに種類名が並べ替えられます。この場合、記録日は新しい順で固定されています（日付による並べ替えはできません）。

### ■ 報告者名から検索 ■

「報告者名」で検索します。表示される結果は固定されており、並べ替えはできません。

### ■ 初見記録の検索 ■

データの備考欄に「初見」という文字が含まれるデータを抽出します。並べ替えはできません。

### ■ 月別報告記録数の集計 ■

入力された種類の累計記録数（個体数ではありません）を月ごとのグラフに表示します。なお、この検索ではあいまい検索ができません。また、抽出されるデータは「成虫」のデータに限られます。

この検索によって、成虫がいつごろ出現するかを見ることができます。

## 「東京都の蝶類データベース」の統計

統計では、蓄積されているデータベースの概要を見ることができます。

「区市町村別記録数統計」では、東京都の各区市町村ごとの記録数をグラフで表示します。

なお、記録数が多いからといって、その地区に蝶が多いということではありません。この統計で少ない地区の記録を集めて、より充実した東京都の蝶類データベースを構築するのにご利用ください。

また、通常一つの場所からの報告には複数の記録が含まれることにご注意ください。たとえば、練馬区でアゲハチョウとヤマトシジミが報告された場合、練馬区の記録は2件となります。

「種類別記録数」では、種類ごとの記録数をグラフで表示します。上記区市町村のデータ同様、記録の少ない種類のデータ蓄積などにご利用ください。

「報告者別累計報告件数」では、報告者ごとに今までデータベースに報告された記録の累計件数を見ることができます。

「年月別報告者及び報告件数」では、入力された年月に報告された方々のお名前と、それぞれの報告件数を見ることができます。

## データの読み方

成=成虫、♂=オス、♀=メス、卵=卵、幼=幼虫、蛹=蛹、死=死骸、を表します。

記録数にある、「少」とは「2~5」、「多」とは「>5」となります。「F」は特にその数が記録されていないものです。

## その他

ご不明な点などございましたら、システム担当者（中村）までお問い合わせください。